



414
A 125
3

第百八十六号 三葉



六月二十七日「ジヤパニガゼツ」抄譯

大正十一年四月
大隈侯爵邸寄贈

然ラシムル處ナリ今日本政府ニテナス所之
 人性トシテ己レモ知ラスニ其トナスヲ他ヨリ見
 其トハ何等ノ其トナリト察スルヲ得ザルハ天
 レニ近キヲ以テ我輩知ルノ得ザルヤ或ハ我輩
 愚ニシテ識ルヲ得ザルヤ
 我輩日本全國ニ宰相ハ一人ナリト思ヒシニ又
 參議ト云々ル官アリ今其官ニ在ル者数人ナリ
 而シテ參議ノ面々己レノ職務ノ何タルヲ知ラス
 ト見ヘリ近日ノ風説ニ一日參議職ヲ取ル者ナ



而ノ翌日ニ及ハリト此説ノ實否ハ如何ナリ
トモ參議ノ面々ニハ子供ノ事ヲナス如ク瑣々
タル更ニ辭柄トナシテ職ヲ辭シ而シテ高
グル事ニ合セル細事ニ任ユ可キ時ハ職ニアリ
此ノ故ニ此ノ如キ説起レルナリ

我輩聞クニ日本政府外國人ノ教ヘニ從ハスル
ルモサノ東南海岸ニ殖民ストシレ甚ク愚ナル
事ナリ其故ハホルモサニテ費ス金ヲ以テ自國
ニ費サハ其功ヲ奏スル倍セル必セリ
日本ハ氣候宜シキニ叶ヒ土地膏腴ニテ物産多

シ然ルニ半年酷熱ニシテ其餘ノ半年ハ恒ニ雪降
ル地ニ殖民セリ又恒ニ酷熱ニシテ健康ヲ大ニ害
スル地ニ殖民セリ且ツ此兩殖民地トモニ費ス
處ノミニテ少シモ得ル處ナシ其一地ハ茲ニ殖
民シテ魯國ノ侵掠ヲ防カン為メナリト然レル
魯國之ヲ領セント欲セハ豈攻ムルニ難キコトア
ランヤ又ホルモサハ不平士族ノ怒ヲ散スル為
メ且朝鮮征討ヲ抗セル者ヲ防ク為メナリト若
シ政府不平ノ徒ヲ鎮靜セン為メニ夥多金ヲ費
スヲ惜ムルナクバ其策ノ上ノ上タルモノハ彼

不平ノ徒ニ世祿ヲ給フニ如ス

箱館

當今ハ住民ノ貿易衰ヘ我輩ノ好時來シレリ

○魯國弘教使「ギリシヤ」宗ノ拜殿ヲ開キ毎日曜

日ニ日本人二百余人來リ拜ス

○本月一日ニ筑波艦、日新艦、大阪艦ノ三隻ノ瀛

船一時ニ出帆セリ之レ筑波艦、日新艦ノ二隻ハ

「カレン」ニ行キ大阪艦ハ其地ニ殖民ヲ送ル為

メナリトノ風説アリ

六月二十七日「ジャパン」ウトキリト、メール抄譯

一昨日一隻ノ瀛船ホルモサヨリ長崎ニ着セシ

カ日本ノホルモサ征討ノ舉動ニ付キテ信ス可

キ説話ナレ但シ兵士大ニ氣候ノ酷熱ナルト佳

水ノナキトノ為メニ苦シミ病者多シ支那ノ動

静ヲ窺フニ未ダ決セル事ナシ其述日布告ニナ

リシル書簡ニハ今西帝國ノ際ノ論トナレル副

島氏支那滞留ノ間ニ北京ニテ談判アリシ件々

ノ明ラカニ舉ケテ證トナセリ

